

きよ
とさ

だれもが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり

社協だより

～社協(しゃきよう)は、社会福祉協議会の略称です。～

2025. 1月
No.167

令和7年1月1日発行

昨年中は大変お世話になりました。

本年も社会福祉協議会では町民の皆様が
いきいきと安心して暮らせる福祉のまちづくりを
推進してまいります。

賀
年
謹
新



主
内
容

- P2～P3 新年のご挨拶
P4 ケアハウス通信・ボランティアステップアップ
P5 まんまるカフェ
P6 訪問介護事業・居宅介護支援事業について
P7 ご寄付ありがとうございました・年末年始の営業のお知らせ
P8 社協ほっと通信

編集・発行 社会福祉法人 清里町社会福祉協議会 清里町羽衣町35番地35 TEL 22-4840 FAX 26-7583

 この社協だよりは、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金の一部をあてて発行しています。



清里町社会福祉協議会ホームページのQRコードができました。ホームページでは、清里町社会福祉協議会からのお知らせや事業の概要を紹介しております。皆さんお気軽にアクセスして下さい。

新春のご挨拶



社会福祉法人

清里町社会福祉協議会

会長 横井 英治



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

日頃より、社会福祉協議会の運営及び事業推進に對しまして、特段なるご配慮をいただき誠に有難うございます。

昨年は、予定しておりました事業を皆様のご協力により実施をさせていただきましたが、国際的には先の見えない戦闘状態の地域があり、十一月のアメリカ大統領選挙にて米国内の分断が進み、国内では十月の衆議院選挙により与野党逆転、世の中が混沌としております。

福祉事業は、地域のため、利用者のため地域に根ざして進めなければなりません。が、物価の上昇が全ての価格に影響を及ぼし運営に支障をきたす現状にあります。

また、介護報酬の改定と利用者への減少により採算が取れない部門も発生してきておりますが、町内に他の事業者がないため撤退するわけにもいかず、今後は「オールきよさと」により問題の解決をしなければなりません。

社協では、基本理念であります「だれもが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」のため、今後とも事業を進めさせていただきますので、皆様の更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年



社会福祉法人
清里町社会福祉協議会

顧問	塚田 昭
顧問	稲垣 友子
会長	横井 英治
副会長	永吉 盛輝
副会長	垂石 悦子
理事	春名 真由美
理事	橋立 秀彦
理事	塩澤 みちよ
理事	桑島 弥生
理事	池下 昇
理事	石川 教治
理事	田島 祥子
理事	梅村 百合子
理事	石井 桃子
監事	成戸 秀幸
監事	村上 孝一

障がい者等就労支援事業を行っています。

清里町社会福祉協議会では、障がい者等就労支援事業を行っています。

この事業は、町内に住所を有しており、障害者手帳をお持ちの方で障害福祉サービスにて就労支援等を受けることが難しい方や何らかの理由で外出機会が減少している方を対象に、短時間の就労を行うことで就労の機会や外出機会を確保し、社会参加の第一歩となることを目的として実施しています。

現在は、4名の方が利用しており、1日1時間、週に1～2回作業をしていただいております。

作業は、清掃作業や、新聞紙の箱作り、ラベル貼り等、その方に合わせて作業を行っており、今年は社協農園でさつまいもやひまわりの花を育てました。また、社協まで来ることが難しい場合は自宅で行っていただいております。

最初は緊張しながら来所されていた方も、少しずつ慣れはじめ今では自ら進んでその日の作業を率先して行っております。

障がい者等就労支援事業で作成した新聞紙の箱は町内の事業所にもご協力を得て置かせていただいております、このゴミ袋は生ごみを捨てる際に使うと匂いの防止にもなります。

また、年に一度外出支援事業として、お食事会を行い皆さんでの交流を図っておりますが、本年度は斜里町にあるグリーンズカフェで開催し、お話をしながらおいしいお食事をいただきました。

障がい者等就労支援事業にご興味のある方は社協までご連絡下さい。

社協農園で育てたひまわりの花から、利用者の方にひとつひとつ丁寧に種をとってもらい袋詰めしました。

短時間就労について皆さんに少しでも知ってもらえるよう、数は多くありませんが社協窓口にて配付させていただきます。

ぜひ春が来たらひまわりを咲かせてみませんか？

ご希望の方は社協窓口までお越し下さい。



町内の事業所さんにご協力をいただき新聞紙の箱を置かせていただいております。

ご協力いただける事業所さんがございましたら社協までお声掛け下さい。



新年のご挨拶

清里町共同募金委員会

会長 畠山 英樹



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝にて、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より清里町共同募金委員会の活動に對しまして、心温かいご理解のもと、ご支援ご協力を賜り役職員一同衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年十月一日より実施しました「赤い羽根共同募金運動」、また十二月一日より実施しました「歳末たすけあい運動」におきましては、町民の皆様よりたくさん募金をお寄せいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。

コロナ過もあけ、少しずつ世の中が通常の生活に戻りつつある中、昨年は、きよるる祭り、産業まつりでのイベント募金や福祉のまちづくり映画会での街頭募金にて、多くの町民の皆様にご来場いただきました。皆さんの募金にご協力をいただきました。

共同募金運動は、第二次世界大戦後の昭和二十二年に「困ったときはお互いさま」の気持ちから「国民たすけあい運動」として始まり、時代の変化とともに令和六年度は「つながり ささえあう みんなの地域作り」として展開しております。募金額の約7割が清里町に還元され、地域福祉活動に大切に使用されております。

皆様からお寄せいただいた募金は、有効に使われるようきめ細やかな配慮をし、本当に必要な方々へ善意をお届けできるよう努力をしております。

結びに町民の皆様にとりまして、最良の年でありませう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

赤い羽根共同募金



10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」を展開し、本年度も町民の皆様からたくさんのあたたかい募金をお寄せいただきました。

募金をいただきました皆様、また、募金の周知やとりまとめを行っていただきました自治会の役員の皆様には、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

今後とも赤い羽根共同募金運動の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

目標額 1,500,000円

募金額 1,438,448円

(令和6年12月10日現在)



【募金の内訳】

一般募金	505,100円
特別募金	225,500円
法人募金	394,000円
職域募金	214,500円
イベント募金	58,014円
その他	41,334円

謹んで新春のお慶びを申し上げます



清里町共同募金委員会

会長 畠山 英樹
 副会長 居城 勝四郎
 理事 吉田 豊子
 理事 柏倉 守
 理事 二杉 早知子
 理事 永吉 盛輝
 理事 石川 みや子
 理事 岩佐 眞知子
 理事 穴戸 清子
 理事 吉田 幸典
 理事 太田 富士子
 理事 桑島 美喜雄
 理事 石井 勝之
 理事 石井 淳子
 理事 菅原 みき
 理事 田中 博光
 監事 小笠原利一郎

🍵 お茶会を開催しました 🍵

10月23日(水)に『お茶会』を開催しました。清里高等学校の茶道部とユネスコ部にご協力をいただき、地域との交流、また、入居者同士の交流を目的として企画した行事です。

入居者の皆様は、目の前で茶を点てる様子を見ながら、淹れたての抹茶と美味しい和菓子を堪能し、楽しいひとときを過ごされました。

当施設では、これからも入居者にとって良い刺激となるような行事を定期的に企画し、開催していきたいと思えます。



～新規入居者募集中～



夫婦部屋 空き 1 室

Q.何歳から入居することができるのかな？
A.60歳以上の方(夫婦の場合は一方が60歳以上)が入居対象となります。

Q.夫婦部屋には夫婦以外にも入居できるのかな？
A.夫婦、親子、兄弟、姉妹での入居が可能です。

Q.食事の自炊ができなくても入居することはできるのかな？
A.自炊ができなくても入居が可能です。但し、掃除、洗濯、薬の管理など、身の回りのことが自分でできることが入居要件となります。

社会福祉法人 清里町社会福祉協議会 ケアハウスきよさと

清里町羽衣町35番地34 電話0152-25-3588 担当:本宮・成戸 ※お気軽にご相談下さい。



地域を支える まんまるの輪Vol3

「札弦町第1自治会ボランティア」

地域で活躍する 団体や人をシリーズで紹介します。

ウエスになる布類が足りません。

ご家庭で不要な布類・衣類を切ってウエスにし、介護老人保健施設きよさとへ寄贈していただいております。

ここ数年、ウエスになる布類・衣類が不足しています。

ご家庭で不要な布類・衣類がございましたら、介護老人保健施設きよさとの玄関に設置している、布類回収ボックスに出していただきますようご協力をお願いいたします。

また、ウエス切りのボランティアにご協力できる方がおりましたらボランティアセンターまでご連絡下さい。

※化学繊維やジーパン・ジャージ類以外の古布でお願いいたします。

町民文化祭に出展しました。

ミニサロンボランティアで作成した作品を町民文化祭に出展しました。

皆さんで考えながら時間をかけて仕上げた大作です。今後は町内各施設に飾られます。



札弦町第1自治会ボランティアは今から25～26年前に発足されました。現在は年に4回お茶のみ会などを行っています。現在は会員が10名。

11月21日(木)今年3回目のお茶のみ会が開催されたため、お邪魔してきました。会員も含め14名の方が参加され、この日は皆さんでウエス切りを行っていました。

ウエスを切りながら最近の出来事などをお話したり、お茶を飲んだり皆さんわいわい交流されていました。また、出来たウエスは老健へ寄贈していただきました。お一人で暮らしている方や夫婦世帯が多いためこのお茶のみ会は、地域の交流や情報交換の場となっていました。また会員の方にお話を聞くと、昔はバス旅行に行ったり食事会をしたりと色々行っていたそうです。ここ数年は会員の世代交代に悩んでいたそうですが、2年程前に役員体制が変わり現在の体制となったそうです。役員同士の打ち合わせは皆さんの負担をかけないようにLINEをうまく使いながら、日程調整等を行ったり、工夫をしながら活動されていました。



まんまる カフェ

～まんまるカフェとは？～

町民同士が気軽に膝を付け合わせながら交流でき、日頃の困りごとを話し合える「移動式カフェ」として、清里町社会福祉協議会が行っている事業です。

各地域毎月開催しています！開催の様子をご紹介します♪



おしるこの会

おさかな釣りゲーム

市街地区では「おしるこの会」を開催しました。芋団子入りのおしるこを参加者皆さんで作って、清里町の懐かしのビデオを見ながら食べました。

写真のレクは「おさかな釣りゲーム」ですが、ただのおさかなではなく、お題が書かれており、そのお題に沿って回答をするというものでした。意外なお題に考えを巡らせ、思い出から懐かしい話、料理の話まで、色々な内容の会話を楽しまれていました。



地域食堂の様子



読み聞かせ会



盆踊り後の食事会



ウエス切り

緑地区では、みなさんで芋団子を作って食べる「芋団子の会」の開催や「地域食堂ポッケ」さんとの共同開催など、美味しい・楽しい交流が行われています。

また12月には読み聞かせボランティアさんによる「読み聞かせ会」が開催されました。「小学校中学年向けとなっている絵本だけれども、これは大人向けだと思います…」など大変興味を惹かれる紹介から始まる絵本などが読まれ、参加された方からは「おもしろい」「聞き入ってしまった」という声が聞かれました。

札弦地区では盆踊り大会や食事会、ウエス切りボランティアを行いました。ボランティアといえども意外と楽しく熱中してしまうウエス切り。参加された方は「夢中になるね」「またやりたい」と話されていました。

～ありがとうの木～



まんまるカフェ参加者のみなさんにもご協力いただいた「ありがとうの木」を、第68回清里町町民文化祭に出展しました。みなさんのあたたかい「ありがとう」の言葉が満開となり「心があたたまるね」「嬉しい気持ちになるね」という声が聞かれました。たくさんのご協力をありがとうございました！



訪問介護(ヘルパー)をご存じですか？

【訪問サービスを利用できる方】

- ・介護認定を受け「要支援」「要介護」となった方。もしくは基本チェックリストにて「事業対象者」と認定された方。
- ・日常生活のサポートを行い、住み慣れた自宅で安心して過ごすことができるように職員一同、笑顔でサービス提供させていただきます。

身体介護

- ・入浴や清拭介助
- ・排泄介助
- ・更衣介助
- ・食事介助
- ・町内での買物、用足し同行
- ・車椅子や車への移乗、移動介護
- ・服薬確認、内服支援



通院介助

- ・町内の医療機関への通院送迎
(自宅から医療機関までの送迎をします)

生活支援

- ・自宅内の掃除、洗濯
- ・調理
- ・ゴミ出し、ゴミ分別
- ・買い物代行



※支援内容の一部です。上記以外にも支援可能なものがございます。詳しい内容はお電話や担当のケアマネジャーにご相談ください。

社会福祉法人 清里町社会福祉協議会 指定訪問介護事業所

電話:0152-22-4840

営業時間:午前8時15分～午後5時(土曜日・日曜日休み)

こんな時は居宅介護支援事業所へご相談ください。

歩くのが大変に
なってきたから
歩行器を使いたい

訪問介護や通所って
どんなサービス？

介護保険ってどんな
サービスがあるの？

家を留守にする
ことになったけど1人で
留守番させられない



家から出なくなった
外出や人と会う
機会が欲しいな

その方に合った介護保険サービスのご紹介をします。
1人で悩まずに私たちにお任せください！

社会福祉法人 清里町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所

電話:0152-22-4840

営業時間:午前8時15分～午後5時(土曜日・日曜日・祝日休み)

ご寄付ありがとうございます

皆様の心温まる善意は、地域福祉のために大切に活用させていただきます。

(令和6年9月18日～令和6年12月17日)

社会福祉協議会 介護老人保健施設きよさと ケアハウスきよさと

〔寄付金〕

- ・原田保夫様 (羽衣町南)
- ・松田寛一様 (羽衣町第1)
- ・木戸達一様 (水元町第1)
- ・安森本すみ様 (向陽北)
- ・南出宏基様 (向陽西)
- ・高橋榮子様 (江南東)
- ・鈴木文雄様 (神威南)
- ・清野国彦様 (札弦町第2)
- ・佐藤伸子様 (札幌市)
- ・山田弘恵様 (札幌市)
- ・清里町農業協同組合様

〔寄贈品〕

- ・木戸一臣様 (水元町第1)
- ・美馬廣子様 (向陽北)
- ・興水教子様
- ・木村順子様 (小清水町)
- ・羽田野肇様 (小清水町)
- ・佐々木豊幸様 (斜里町)
- ・水元町第1自治会女性部様
- ・清里町農業協同組合女性部様
- ・清里町農業協同組合女性部アカシア部会様
- ・札弦町第1自治会ボランティア様

・北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社様より清涼飲料水の寄贈をいただき、一人暮らし高齢者生活用品等配布事業で配布させていただきました。



社会福祉協議会年末年始の対応について

○社会福祉協議会事務局

12月28日(土)～1月5日(日)休日
留守番電話にて対応します。

○訪問介護(ホームヘルパー)

12月28日(土)～1月5日(日)休日
必要時に営業します。

○居宅介護支援事業所

12月28日(土)～1月5日(日)休日
留守番電話にて対応します。

○老健デイケア

12月28日(土)～1月5日(日)休日
必要時に営業します。

○老健きよさと

年中無休(休業はありません)

○ケアハウスきよさと

年中無休(休業はありません)



知っていますか？ 生活福祉資金のこと

「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的に、継続的な相談支援を実施する制度です。貸付資金には、「総合支援資金」、「福祉資金」、「教育支援資金」、「不動産担保型生活資金」の4種類があり、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等世帯単位に、それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金、たとえば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学のための資金、介護サービス利用のための資金貸付け等が行われます。この資金の貸付けによる経済的な援助にあわせて、市区町村社協等が資金を借り受けた世帯の相談支援を行います。内容等については、お気軽にお問い合わせ下さい。



福祉のまちづくり映画上映会を開催しました。

11月15日(金)・16日(土)、清里町生涯学習総合センター小ホールにて、ノーマライゼーション普及事業の一環として「福祉のまちづくり映画上映会」を開催しました。

知的障がいを持つ両親のもとで育った女性の葛藤を描いた「わたしの母さん-天使の詩-」を上映しました。

清里町内、網走市や小清水町・斜里町から、147名の方が来場されました。

また、会場内では就労継続支援事業所(B型)エゾモモンガ(小清水町)で作成された作品も販売されました。

良かった・感動したという感想が多く聞かれ、子どもたちにも是非見てほしい、今後もこのような映画会を開催してほしいとの声が聞かれました。



地域権利擁護普及事業町民向け研修会を開催しました。

11月27日(水)清里町保健センター健康ホールにて、地域権利擁護普及事業町民向け研修会を開催しました。

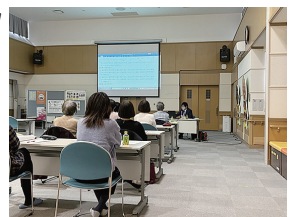
この事業は、町民の皆さんに広く権利擁護について知ってもらうため毎年開催しています。

今年度は「教えて!遺言書の作り方!」と題し、荒永毅法律事務所 荒永毅弁護士(網走市)より、遺言書の書き方についてご講演いただきました。

遺言書の種類や実際に書く際にどのように書けば良いのか、様々な事例を見ながら具体的に説明をうけました。「残された人たちがトラブルにならないようにすることが遺言。」「取り分だけ遺言書に記載することは、分けることができない土地などもあるためリスクである。」等細かい部分も知ることができました。

質疑応答では、参加者の皆さんから質問も出ており、自分ごととしてこれからについて考える機会となりました。

参加者からは弁護士さんから直接話を聞けるいい機会だったと感想が聞かれました。



日頃の介護のリフレッシュ

在宅で高齢者や障がい者の方を介護されている方を対象として介護の悩みや相互の介護経験を話し合うことで介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ることを目的とし開催しております。今回は、12月11日(水)~12日(木)まで弟子屈町川湯にあるお宿欣喜湯別邸 忍冬へ向かい6名が参加されました。

夜は温泉とおいしい食事とお酒で参加者同士の交流は更に深まりました。交流会後は、お部屋でそれぞれ交流されておりました。

義理の父母や妻など介護をされている方はそれぞれ違いますが、皆さんこれまでの経験を話したり、悩みを打ち明けることで、気が楽になった。今後もこのような機会を設けてほしいと話していました。

昨今ニュース等で介護疲れなどのニュースを目にしますが、在宅介護者の集いは年2回実施しております。このような機会を利用し悩みの相談やリフレッシュを試みませんか。



歳末助け合い事業を実施しました。

12月18日(水)75歳以上のひとりで暮らしている方を対象に、生活用品等配布事業を実施しました。

清里町民生児童委員協議会・清里町共同募金委員会・清里町社会福祉協議会役員が、それぞれの地域の方に年に1度声掛け訪問を行い、直接顔を見ながら、指定ゴミ袋、きよボン商品券、ミニサロンボランティアの皆さんが作成しているカレンダー、小物入れ、北海道コカ・コーラリテール&ペンディング株式会社様から寄贈いただいた清涼飲料水を配布しました。

また、12月23日には、自宅において病気やその他の原因により寝たきりで療養されている方や、心身に障がいをお持ちの方等に、新しい年を迎えるこの時期に「歳末たすけあい支援金」の贈呈を行いました。

